

## 県西地区保健医療福祉推進会議 第1回病床機能分化・連携ワーキンググループ 開催結果概要

- 1 日 時 令和2年10月27日（火）19時から20時30分
- 2 場 所 県小田原合同庁舎2階2DE会議室
- 3 参加者 医療機関 24名（18医療機関）  
医師会、行政 3名  
オブザーバー（市町等） 10名
- 4 議 題
  - （1）足柄上病院と小田原市立病院の機能・連携方策について  
事務局より、資料について説明後、意見交換を実施した。
  - （2）地域医療介護総合確保基金（医療分）について  
事務局より、資料について説明後、意見交換を実施した。
  - （3）神奈川県保健医療計画の中間見直しについて  
事務局より、資料について説明後、意見交換を実施した。
- 5 報 告
  - （1）地域における医療・介護の連携体制の構築について  
事務局より、資料について説明。
- 6 主な意見等

議題（1）足柄上病院と小田原市立病院の機能・連携方策について

- ・足柄上病院と小田原市立病院の連携は地域としてありがたい。資料1－2の「高度急性期、急性期医療」に係る文章において、両病院が連携し地域完結型を目指した医療提供体制の維持・確保を図るとあるが、ここに他の民間病院も入れていただきたい。

- ・小田原市立病院の建て替え費用は地域医療介護総合確保基金の対象となるのか。
- 建替えの中の取組みとして、地域医療構想の推進に役立つという部分については、地域の皆様にご了解いただけるのであれば、基金活用計画の中に位置付けられることは可能と考えている。(事務局)
- ・地域医療を行っている病院が連携を強化する場合には、その部分を切り出して相談することは可能か。
- 地域の中で議論がなされて、協議が整うのであれば可能性としてはあり得ると考えている。(事務局)
- ・全体として、どのような機能を2つの病院が協力して行っていくのかということについて、もう少し総括的、俯瞰的な総論が必要。

#### 議題（2）地域医療介護総合確保基金（医療分）について

- ・2つの基幹病院とその他の病院群が上手く連携できる体制が整えば、それに介護を加えて、他の地域で実施しているようなネットワークを作っていけると思う。
- ・足柄上地区は医師が少ないので、医療従事者に対する確保や勤務環境改善対策について、これから考えていきたい。

#### 議題（3）神奈川県保健医療計画の中間見直しについて

- ・今年新型コロナウイルス感染症があり、県西地域では急性期医療が一時的にかなりひっ迫した。国は、従来の計画をそのまま進めていくようだが、災害とか感染症を基準病床数の見直しにおいて考慮すべき要因として入れることも考えていくべきではないか。
- ・国は従来通りと言っているのですが、2つの基幹病院だけでなく、急性期の民間の病院や、慢性期や回復期の病院もすべて含めてより連携を強めて、適切に在宅まで戻すというシステムを皆でバックアップしていかざるを得ないのではないか。
- ・新型コロナウイルス感染症により、いまは平時ではなくなってしまったので、こういった会議で、いつになったら正しい数字が出るのかも、決めるのが難しいと感じている。

#### 報告（1）地域における医療・介護の連携体制の構築について

なし